

記載例

様式第3 (第52条関係)

(令和 7 年度)

報告の対象期間が3月末までのため、4月以降に作成してください。

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

令和 8 年 ● 月 ● 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

登録情報に変更がある場合は、別途変更届出申請を行ってください。

(郵便番号) 〒 310-8555

住 所 茨城県水戸市笠原町978-6

氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

(株)フロン充填回収

代表取締役 茨城 太郎

電話番号 123-456-7890

登録番号 茨 99999 号

5桁の番号を記入してください

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

【記入にあたっての注意点】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 別紙は、原則として、以下の数式となるようにすること。

| | |
|------|---------------------------|
| CFC | ② + ③ = ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ |
| HCFC | ⑩ + ⑪ = ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯ |
| HFC | ⑱ + ⑲ = ⑳ + ㉑ + ㉒ + ㉓ + ㉔ |

- 3 第49条第2号に該当する場合にあっては、引渡し及び返却の年月日、申請者の氏名又は名称及び住所並びにフロン類の種類ごとの量を記載した書面を添付すること。
- 4 報告する数値は、小数第2位(少数第3位を四捨五入)まで記入してください。(例: 52.867kg → 52.87kg)
- 5 押印は不要です。両面印刷でご提出ください。

【担当者】〔必須〕

記載内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、ご記入ください。

| | | | |
|----|----------------|--------------|---------------|
| 所属 | (株)フロン充填回収 管理部 | | |
| 氏名 | 茨城 太郎 | 日中連絡のとれる電話番号 | 000-0000-0000 |
| | | FAX番号 | 123-456-7890 |

必ずご記入ください。

登録の氏名又は名称

画像認識に使用しますので、大きくはつきりとご記入ください

登録番号 茨 第

99999

号

別紙

| CFC (R11、R12、R113等) | | | | | | |
|--------------------------------|--------------|-------|---------------|-------|-------|-------|
| 充填 | (1)エアコン・イソナー | | (2)冷蔵機器及び冷凍機器 | | (3)合計 | |
| | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| <整備> 漏えい修繕等の整備時に回収する場合 | | | | | | |
| <廃棄等> 廃棄や譲渡の際に回収する場合 | | | | | | |
| 回収 | 整備 | 廃棄等 | 整備 | 廃棄等 | 整備 | 廃棄等 |
| CFCを回収した第一種特定製品の台数 | 2 | 1 | 5 | 3 | 4 | 4 |
| ②回収した量 | 4.00 | 10.00 | 10.00 | 15.00 | 14.00 | 25.00 |
| ③年度当初に保管していた量 (令和7年4月1日現在の保管量) | | | | | 5.00 | 10.00 |
| ④第一種フロン類再生業者に引き渡した量 | | | | | 19.00 | 15.00 |
| ⑤フロン類破壊業者に引き渡した量 | | | | | 0.00 | 10.00 |
| ⑥回収したフロンのうち、令和8年3月31日現在に保管した量で | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑦す。充填のために新規に購入したフロンはこれに含めません。 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑧年度末に保管していた量 (令和8年3月31日現在の保管量) | | | | | 0.00 | 0.00 |

茨城県からの通知を元に記入してください

| HCFC (R12、R113等) | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|------|---------------|------|-------|------|
| 充填 | (1)エアコン・イソナー | | (2)冷蔵機器及び冷凍機器 | | (3)合計 | |
| | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 |
| | 0 | 1 | 5 | 7 | 5 | 8 |
| ⑨充填した量 | 0.00 | 0.00 | 20.00 | 5.00 | 20.00 | 5.00 |
| 回収 | 整備 | 廃棄等 | 整備 | 廃棄等 | 整備 | 廃棄等 |
| HCFCを回収した第一種特定製品の台数 | 1 | 0 | 10 | 0 | 11 | 0 |
| ⑩回収した量 | 0.00 | 0.00 | 30.00 | 0.00 | 30.00 | 0.00 |
| ⑪年度当初に保管していた量 (令和7年4月1日現在の保管量) | | | | | 10.00 | 0.00 |
| ⑫第一種フロン類再生業者に引き渡した量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑬フロン類破壊業者に引き渡した量 | | | | | 25.00 | 0.00 |
| ⑭法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロンの量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑮第49条第1号に規定する者に引き渡した量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑯年度末に保管していた量 (令和7年3月31日現在の保管量) | | | | | 5.00 | 0.00 |

⑩+⑪=⑫+⑬+⑭+⑮+⑯
となることを確認してください。

※1) 整備(修理)等で、回収したフロンをそのまま全て再充填した場合、回収量及び充填量は「0」kgとなり、台数のみカウントします。
(例) エアコン1台の修理の際、10kgのフロンを回収し、修理完了後、回収したフロン10kgを同一のエアコンに戻した場合、充填量及び回収量は「0」kg、台数は1台となります。

| HFC (R410A、R32等) | | | | | | |
|------------------------------------|--------------|-------|---------------|-------|-------|-------|
| 充填 | (1)エアコン・イソナー | | (2)冷蔵機器及び冷凍機器 | | (3)合計 | |
| | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 | 設置 | 設置以外 |
| | 0 | 15 | 20 | 10 | 20 | 25 |
| ⑱回収した量 | 0.00 | 50.00 | 20.00 | 30.00 | 20.00 | 80.00 |
| ⑲年度当初に保管していた量 (令和7年4月1日現在の保管量) | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ⑳第一種フロン類再生業者に引き渡した量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ㉑フロン類破壊業者に引き渡した量 | | | | | 20.00 | 80.00 |
| ㉒法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロンの量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ㉓第49条第1号に規定する者に引き渡した量 | | | | | 0.00 | 0.00 |
| ㉔年度末に保管していた量 (令和8年3月31日現在の保管量) | | | | | 0.00 | 0.00 |

自ら回収したフロン類を分析機器を用いて正しく分析し、適切に再生したうえで、回収した機器とは別の機器へ自らが充填したものです。充填した量として、①⑨⑯にも量を記入してください。
回収したフロンを同一機器に戻し充填する場合はこれに含めず、台数のみ記入する。(上記※1)